

相模女子大学におけるインクルーシブな生涯学習の取組

※成果報告書等を元に
文部科学省が作成



経緯・概要

- 相模女子大学では、2021年度より相模原市と協働で、**発達障害や知的障害の若者と同大学の学生がともに学ぶ「インクルーシブ・プログラム開発事業」**を実施。
- 参加者が、同世代の若者と同じように仲間として過ごし、好きなことについて学ぶなど、**豊かな人生を送るための生涯学習活動の在り方を考え、実践する**取組。



(写真①) セミナーの様子

インクルーシブ生涯学習プログラム

- ・ 2024年度プログラムは、秋学期の土曜日に全9回実施。うち4回は下記の「オープン・セミナー活動」を実施。

【オープン・セミナー「大学で学ぶ楽しみ発見セミナー」】

(2024年度参加者数：当事者・学生あわせて各回約25名)

- ・ **障害の有無や性別に関わらず、若者なら誰でも参加できる**、生涯学習プログラムの中核的活動。
- ・ 大学教員による講義・就労ワンポイント講座・趣味自慢タイムの3部で構成。講義の受講だけでなく、**当事者と学生が自分の考えや趣味について、同じ立場で語る機会**があることが特徴。

【ゼミ活動】 (2024年度参加者数：当事者4名、学生4名)

- ・ 当事者と学生の**固定メンバーによるクローズドな活動**。顔なじみの面々だけで安心して思いを語り合うことができる対話の場としても機能。

エンパワメント・プログラム

- ・ 「インクルーシブ生涯学習プログラム」を支える、当事者と学生による発展的な活動。

【リサーチ活動】 (2024年度参加者数：当事者5名、学生3名)

- ・ **当事者と学生による調査・研究活動**で、オープン・セミナーのテーマや、意義や効果などを検討。
- ・ 当事者と学生がフラットな立ち位置での話し合いを大切にしながら、プログラムの中心である**オープン・セミナーの運営**を、**当事者と学生の協働**により行っている。

【メディア活動】 (2024年度参加者数：当事者2名)

- ・ 普及啓発を目的に、当事者が主体となって、**プログラムの取材や、動画の制作・編集・配信**。

★活動紹介動画などが掲載されているホームページはこちら→



取組の成果・課題

- 「インクルーシブ生涯学習プログラム」では、参加者が自己実現を図りながら主体的に関与することで、当事者は精神的健康や自己肯定感の向上、コミュニケーションスキルの育成につながっている。
- 学生にとっては、既に就労している当事者は人生の先輩であり、共に活動することは、新しい価値観の獲得につながるかけがえのない経験となっている。
- 一方で、プログラム継続のための安定的な財源と人材の確保には課題があり、他の地域への波及に向けては、地域ごとの特性に応じた柔軟な対応の方策も求められている。
→プログラムの**持続可能性の確保**に向けた体制の構築と、**波及へ向けたアプローチ方法**の検討が必要。



(写真②) メディア活動の様子